

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2023年 2月 1日

事業所名： レインボーキッズ・メソッド2(西条)

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・ 体制整備	1	83	17		移転して、以前よりもスペースを確保した。	76	3		21	・まだ拝見できていません。 ・子どもに分かりやすく、活動がしやすいと思っています。 ・「はい」と本人が言っていました。 ・個別に落ち着いて過ごせるよう部屋が区切っているのが良い。	スペースの確保をある程度行えたことで死角になる部分も増えたので、スタッフの配置等の工夫を行う。
	2	17	66	17		66	7		27	まだ拝見できていません。	スタッフの確保を行う中で。利用者の状況も考えながら配置を行っていく。
	3	50	50			83			17	・見ていないのでわからない。 ・「はい」と本人が言っていました。	
	4	100			定期的(毎日)に使った遊具などの消毒や整理を行っている。	90			10	それぞれの部屋で区切られており、落ち着けて活動が出来るそう。	現状の環境を維持できるように継続した環境整備を行う。
業務改善	1		83	17		/	/	/	/	/	
	2	17	66	17		/	/	/	/	/	
	3	67	33			/	/	/	/	/	全体ミーティングや放デイ連絡会や市に設置されている障がい者自立支援協議会などと連携していく。
適切な支援の提供	1	100			アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	97	3				
	2	100			児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	93	3		4		
	3	100			子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	/	/	/	/	/	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	67	33			93			7	スタッフ間の情報共有を徹底し、支援について協議をする場を増やしていく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	50	50		レクリエーション活動を立案し、毎月レクリエーションカレンダーを作成している。					
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	33	67			79	21			事業所内で話し合いの場を持つようにし、意見箱などを活用しながら子どもたちの意見も反映できるようにしていく。
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	66	17	17						
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	100								継続して取り組んでいく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	83	17							継続して取り組んでいく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	83		17						
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	83	17							担当者だけではなく、他のスタッフにも経験できる機会をつくる。	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	67	33							
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	67	33							身近な課題となっており、関係機関と情報を共有し、意識を高めていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
関係機関との連携（続き）	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	50	50							身近な課題として研修会に積極的に参加するなどして学ぶ機会をつくる。	
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	50	33	17	移行支援に対しての知識が不足している。					トライアングルプロジェクトの周知を教育機関に働きかけながら協力体制を築いていけるようにしていく。	
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	100								サポートファイル等の活用などを積極的に考えていく。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	83	17		センターと言われる機関との連携がほとんどない。					子ども部会や西条市放課後等デイサービス連絡協議会等と連携していく。	
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	17	66	17		31	10	17	42	学校での交流級にて一緒に活動はしているが、児童クラブ、児童館での交流はしていない。	地域との関わりも大切にしながら、交流できる機会を考えていく。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営		67	33							
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	83	17			97	3				
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	83		17		86	7		7		
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	83		17	ペアレントトレーニングといえるまでの専門的な知識が事業所として備わっていない。	48	28	10	14	ペアトレしてもらいたい。	外部の研修に参加したり、事業所内で研修等を行い、ペアレントトレーニングの知識を身に付け、実践できるように取り組む。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	83	17			93	3	4	常に日頃の事を伝えている。困っている事などを伝えたり、その時その時の様子を伝え、分かって頂いている。	継続して取り組んでいく。	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	50	33	17	助言ができるスキルがあるスタッフとそうでないスタッフの差がある。	83	14	3	・何かあった時、対策や助言を言ってくれているのでありがたいです。 ・きめ細やかな助言をしてほしい。	事業所として、全スタッフが共通認識を持って適切な対応と助言ができるように話し合いの場を今まで以上につくっていく。	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		17	83		17	10	38	35	・父母の会に参加した事がなく、わかりません。 ・コロナ等の懸念もあるので、致し方ないと思います。	今後の検討課題の一つと考えており、必要も需要も含めて色々な意見も聞きながら検討していく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	83	17			69	7		24	・苦情など、聞いたことがまだないので対応などはレインボーさんを信じております。 ・苦情の存在を知らないため、わからない。	事業所内でマニュアルに沿った対応ができるように周知徹底していく。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	83	17			93			7	子どもの気持ちを汲み取ってくれている。親の言葉をしっかり聞いてくれています。	継続して取り組んでいく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	50	33	17		72	7		21		
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	100			事業所内で定期的に話題に挙げ、意識が低くならないようにしている。また、文章を内覧で回すなどして、スタッフ間で話し合う場をつくっている。	80	3		17		利用者の方の意見を真摯に受け止め、個人情報についての認識を再確認できるように、個人情報の境界線をその都度事業所内で確認していく。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	50	50		周知の徹底ができていない。	76	3		21	コロナ等など、感染者がいる時に連絡をくれて細かく説明をしてくれて、子ども同士、先生同士の接触度を教えてくれるので助かります。	マニュアルが無いものに関しては作成し、作成後に周知できるよう発信方法も検討しながら周知しやすいような取り組みを行う。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	83	17			66	3	3	28		避難訓練等の実施について、利用者の方にわかるように発信できる方法や手段を増やしていく。(例えば、文章でお知らせするなど)
非常時等の対応(続き)	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	67	33		委員会の充実を図り、正しい知識を身に付けられるように学習会を実施している。						担当スタッフを中心に、事業所内外で研修に参加できる体制をつくっていく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	67	33								
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	33	67								
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	100									継続して続けていくことで再発防止が行えるようにしていく。